

第 410 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 7 年 4 月 8 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX ROOTS RADIO
[放送日時] 令和 7 年 3 月 18 日 (火) 19:00～20:30
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
委員 小野晃司 委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
編成制作部 山本知照
5. 事務局報告 ○ 2024 年度の報告と 2025 年度の現状と予測、新編成について
6. 番組審議
[番組名] K-MIX ROOTS RADIO
[放送日時] 令和 7 年 3 月 18 日 (火) 19:00～20:30
[出演者] D J R o n i
[番組内容] 大好きな静岡をリスナーとともに GROOVE させる
音楽とカルチャー！
会ったことはなくても、昔からの仲間だったかの
ような、 なんだか気の置けないみんなが 19:00 に
集い、ポジティブで時に刺激的な夜を過ごす番組。

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員 番組も開始から月日を重ねているので、番組タイトルと内容の一致が感じられた。ただし、率直に、番組内容は時間帯に合っているのか、昼間の番組内容と似ていないかと疑問を持った。
R o n i さんのトークは、少し、進行案に沿い過ぎていて、フリートークの雰囲気が薄く感じたので残念である。
選曲や曲紹介に関しては、相変わらず R o n i さんの持つ広いジャンルと深掘りの情報は良かった。

小野委員

月～木の19時からの90分は、R o n iさんのキャリアからも良いと思った。オープニングトークにもR o n iさんらしい向上心を感じ、トークも歯切れ良く貫禄をも伝えてくれる。番組開始当初よりも高品位になったと思う。しかしながら、ゲストを迎えたトークは少し面白さがトーンダウンしてしまったように感じる。番組としては全体的によくまとまっていると思う。

加藤委員

R o n iさんと同世代と感じる世代にはとても共感できて、面白い番組だと思う。ゲストを迎えた農作物に関するトークでは、ゲストが説明力・描写力が優れていたのに対し、R o n iさんが直接的な感動の言葉をパフォーマンスに駆使するところが絶妙。いわゆる“食レポ”をされるよりも、R o n iさんの感嘆詞の多用が活きていて“おいしさ”が伝わった。ゲストとR o n iさんの輪に入って食べたくなったほどであった。

服部委員

90分という放送時間をR o n iさんが余裕で取りまわしているところが良い。ゲストを迎えて農作物を紹介するコーナーではゲストや聴取者を巻き込む雰囲気を作る上手さが伝わる。曲紹介のパートはR o n iさんの得意分野ということもあるので、かなり詳しい紹介をしてくれるが、時々リスナーが置いてきぼりにされているように感じるのではないか、と思われるため、バランスが大切。全体通して肩の力を抜いて、ゆったり聴くことができる番組であると思う。

角田副委員長

現在のラジオ聴取のポイントは「自分の推し活的に好きなパーソナリティの番組」か「気楽に聞くことができる聴きやすい番組」かであると思う。前者は一定の局のファンとは限らず、後者はその局のファンであり、放送局の編成においてどちらを目指すのかの選択をすると良いであろう。R o n iさんの良さは、トークの歯切れの良さ、テンポ感の心地よさが筆頭であり、多くのR o n iさんファンもつかんでいると思う。ここに、もう少しテンポを緩くするとより多くのファンが見込めると思う。R o n iさんの安定感は番組の安定感にもつながり大きく支持できる。

木宮委員長

R o n i さんのトークは変わらずとても耳ざわりが良い。
また、以前担当していた昼間の番組よりも落ち着きを感じる。
一方で、聴く側にもR o n i さんのトークの流れに対する
慣れも出てきていると思う。そのため、耳ざわりの良さに
頼りすぎると、R o n i さんの声を心地よく捉えて聴き流して
しまい、言っている内容を流してしまう可能性を否定できない。
特徴のあるトークなので、この辺りを意識すると、良いのでは
ないか。取り立てて大きなトピックのない、内容やゲストの時に
そのように盛り上げて行き、聴取者に内容が残るように
演出するかが今後の課題。今回のゲストは、豊富な訴求内容
を持っていたので印象に残った。

会社サイド

K-M I Xの夕方から夜の番組は、若者向けと大人向けを
定期的に編成していますが、現在は、概ね、30前後から、
若い心を持ち続けている大人の方に伝わる番組としています。
そのためには、R o n i さんのトークは有効であり、聴取者にも
R o n i さんを推してもらうように演出しています。
どの番組にも好き嫌いは存在しますが、
好き嫌いがはっきりと、色濃く出る番組をこれからも
大切にしていきたいと考えております。

以上

次回開催日 令和7年5月13日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長

木 宮 敬 信